

出雲地域交流会のご報告

✿ 地域交流のプラットフォームに ✿

出雲地域交流会は2016年より出雲地域の助け合いの住民主体のプラットフォームになりたいと毎月活動交流を行ってきました。生協しまね・おたがいさまいずも・ひかわと出雲の医療生協・ワーカーズコープ・グリーンコープ島根・JAしまね斐川地区本部・つながりセンター・出雲市社協等徐々に仲間を増やし現在に至っています。初めは、助け合い活動の交流会内で事例検討会を毎年行っていました。事例から発展させ、ケアマネ協会と出雲市医療介護連携課との事例検討会が実現しました。

2023年度からは「出雲地域交流」と「たすけあいチーム」に分かれ、「たすけあいチーム」ではコーディネータ会議も実施、出雲市社協にいつも助けられながら、でも主体的に継続して活動しています。

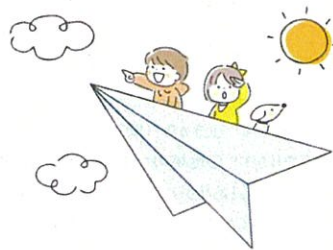
また、3月には出雲市内のフードバンク・フードドライブ交流会も開催して、課題を共有することが出来ました。

そして昨年末からは、担い手不足の共通の課題をまちぐるみで解決したいと「どうする？担い手確保作戦会議」に取り組んでいます。

出雲地域交流会は、どこまで？果てしなく、自由に助け合いを広げ邁進中です。



社協での「担い手確保」作戦会議の打ち合わせ中 2023年



第1回「どうする？担い手確保作戦会議」

2024年1月19日出雲弥生の森博物館にて

32名が集まり

担い手確保のアイデアが174枚！



①住民参加型在宅福祉サービス団体に事前
にお願いしたアンケート結果の報告

②出雲市の取り組み紹介

③グループでアイデア出し

④出したカードをグループ
ごとに模造紙に



第2回「どうする？担い手確保作戦会議」

2024年3月5日(火)出雲科学館にて 参加者 22 名
『広報』『インセンティブ』『しくみづくり』『関係づくり』に分けて深掘りしました。

まず、第1回の「どうする？」
会議のようすをご報告・・・
『今日は、新たな方もご参加
いただきました。前回は踏まえて、
担い手確保作戦をさらに
深掘りしましょう！』



第3回「どうする？担い手確保作戦会議」

2024年5月21日(火)出雲科学館にて 参加者 22 名
深掘りしたアイデアをさらに具体化しました。

そして
ついに 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会で、
「どうする？担い手確保作戦会議」のまとめを発表！
2024年7月26日(金)出雲弥生の森博物館にて 参加者41名

媒体の種類

助けあい団体の存在と
活動について、市民に
行き渡る有効な工法の
仕方(媒体、機会等)
を工夫し、より広くわ
かりやすく知らせてい
ただきたい

出雲市の広報誌
ケーブルテレビ
SNS 発信
懸垂幕等

市民福祉祭やフォーラム
前後に出演
マスコミ活用
市役所窓口配布物

市役所・社協のHPや
「てごなび」へ
ポスター・マグネット
既存のまつりに参加

内容・対象

- ①動画・寸劇で活動アピール
- ②CM作成
- ③多世代(子育て層)の利用紹介
- ④支援者募集は、学生、若い世代、外国籍、IUターン者にも広げる
(島大・県大などは窓口を通して紹介・大学祭などでコーナー参加し、広報)



担い手を増やすため、有償の助けあいに参加するきっかけづくりとして、また、活動を継続する意欲を引き出せるよう、団体や活動者への「特典」を

ボランティア参加証明発行(中学生・高校生の地域活動証明書)
協賛企業を増やし、ポイント利用事業費にする(企業への周知・活動理解)

市の施設(温泉・運動など)の無料券(団体ごと、あるいは実働の方に配布)
新しく支援者になった人・紹介した人、双方に、軍手や日用品などボランティアで使うものをプレゼント

ボランティアカードのポイント制(こころカードのような仕組み)
○入場料、お茶や食事の店で使用(地域のお店や団体の理解・周知)
○自分自身の支援を受ける際に使えるポイントへ
○ボランティアに必要なガソリン代に
○実働の方が使えるもの(有効期限・回数と時間カウントなども入れたい)

活動「特典」



地域にとって

○個人々へのインセンティブ(→やりがい)+市民の健康づくり+市の施設の利用 +助け合い活動の周知(無料券に助けあいの説明を載せる)=1石4丁。

○インセンティブ協力施設を増やす活動は、官民みんなで行き、市内の諸企業・団体が、「助け合い活

キャッチフレーズ等わかりやすい表現方法を作成し、様々な宣伝物(媒体)への使用や機会を工夫して、市全体の機運アップにつないでいただきたい。



作成・活用

有償であることが継続に=お金を得ながら達成感も味わえるのを伝えたい

人権標語のように公募作成(子どもたち~大人まで、広く巻き込む機会を創る)

すべての団体が共通して使用できるキーワードを盛り込む

キャッチフレーズ作成後は、どんな媒体にも載せる・活用する

キーワード

○やりがい・生きがい・助けあい ○みんなで支えあう地域づくり ○地域のもう一人の家族 ○私のやりがい ○地域のつながりづくり ○頼りにされることがうれしい ○私の安心・家族の安心 ○「たすかる!ありがとう!」はお金以上の価値
○お金以上のやりがい(お金では割が合わないこともあり) ○「有償」の大事さが伝えたい=善意がうまく回る ○「おたがいさま」の関係も、有償で継続

住民参加型団体とも会を重ねるごとに、本音もお聞きすることができました。「後継者がいなくて、入院中も休めない」「経済的にもう破綻。助成もない!」やっとなんかとも言える関係になれたかと思います。だからこそ支え合って、助け合いの絆を深め、安心のまちづくりを前進させるプラットフォームを大きくしていきたいと思います。以上です。